

### 基本的感染症対策

- ①感染成立の3要因への対策
- ②病原体を“持ち込まない” “持ち出さない” “拡げない”

感染経路	感染源 (病原体)	感染を受ける人 (宿主)
<ul style="list-style-type: none"> <li>マスクの着用</li> <li>手洗い</li> <li>ソーニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察の徹底 (家庭との連携)</li> <li>体調不良の場合は休養</li> <li>共有物の清潔、消毒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗力を高める</li> <li>十分な睡眠</li> <li>適度な運動</li> <li>バランスの取れた食</li> </ul>

### 集団感染予防対策

**3密：密閉・密集・密接を避ける**  
ムムムン・ぎゅうぎゅう・ガヤガヤを避ける！

- ✓ 1~2mの間隔をあける
- ✓ 教室換気⇒オープン教室
- ✓ 室内気温エアコン調整
- ✓ 体温配慮、熱中症予防
- ✓ 近距離、対面活動制限
- ✓ マスク常時着用
- ✓ 校舎内動線確保/ゾーニング
- ✓ トイレ/水道利用方法の工夫 (並び方、間隔)



### 感染経路対策：手洗いの徹底

#### 手洗いの機会

- ☑ 登校後
- ☑ けやきタイム
- ☑ 給食前
- ☑ 清掃後
- ☑ 昼休み後
- ☑ トイレ利用後



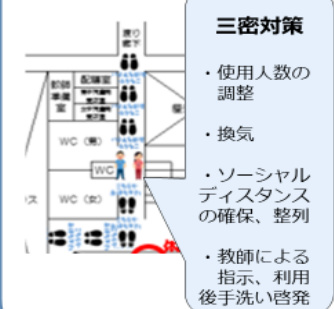
#### 水道利用時：ソーシャルディスタンス確保



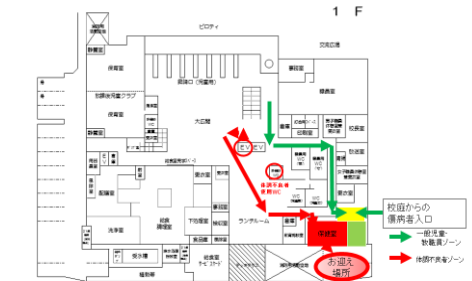
### 感染経路対策：手洗い啓発

- 教室黒板掲示による啓発
- 放送による啓発
- トイレ利用後の呼びかけによる啓発
- 出入口口掲示による啓発

### 感染経路対策：トイレ利用



### 感染経路対策：校舎内ゾーニング 1階



学年	1年	2年	3年	4年	5年
1年1組	1年1組				
1年2組		1年2組			
1年3組			1年3組		
1年4組				1年4組	
1年5組					1年5組
2年5組					
2年4組					
2年3組					
2年2組					
2年1組					
ひまわり2組					
ひまわり1組					

### 新型コロナウイルスによる感染症予防対策（各教科等）

・感染症対策（換気・手洗い・消毒等）を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については行わない。

	実施できない	実施できる（条件付）
音楽	狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動	・広い空間での歌唱指導や身体の接触を伴う活動 ・楽器の演奏
家庭 ★教室で指導	調理実習 ・実習は、家庭学習（計画→実習→まとめ）	裁縫実習 ・学年等を活用
体育	密集する運動 ・水泳・タグラグビー・集団マット運動 ・大人数でのネット型ゲーム ・表現運動（フォークダンス）等	密集しない運動 ・体ほぐし運動・体づくりの運動・輪跳び ・かけっこ、リレー・高跳び ・リズムダンス（表現）等 ※器械運動については、消毒、手洗いを講じた上で実習可
理科 ★教室で指導	・向かい合って話し合い ・密集となるような実験、観察	・屋外での観察 ・実験（リスクが高い場合行わない）
学級活動	グループでの話し合い活動	隣の人との話し合い ※対面とならないような形が望ましい

### 熱中症対策

マスク着用及び運動不足要因による熱中症リスク↑

熱中症主症状：高熱・頭痛  
新型コロナウイルス感染症の症状と同様に判別が難しい

- ☑ 意識的な水分補給：水筒持参
  - ☐ 手洗い時
  - ☐ 体育や活動の前後
  - ☐ 休み時間の前後
- ☑ 活動時は帽子をかぶる！無理は禁物！
  - ☐ 体育や活動は、強度・体調に注意しながら実施
- ☑ 気温の確認
  - ☐ 教室の気温を適宜、確認する
  - ☐ 体感温度も参考にする  
(換気実施とエアコン稼働の併用のため、体感温度も参考にして調節する)
- ☑ 基本的な生活習慣を心がける
  - ☐ 3食しっかり食べる
  - ☐ 質の良い睡眠をとる

### 教職員の感染症対策

- 健康観察表による毎日の健康観察及び検温の実施
- 3密回避、感染防止シールド設置、換気の励行、飲食の分散
- 共用物品（電話、印刷機、コピー機、PC等）使用前後は手洗い、手指消毒
- 体調不良時は休暇を取得、無理な勤務はしない
- 手洗い、適宜手指消毒、マスクの常時着用、場合によりフェイスシールド着用